

(1 市民のいのちと暮らし，安心安全を支える施策並びに中小企業，地場産業の支援)

[単位：千円]

1 市民のいのちと暮らし，安心安全を支える施策並びに 中小企業，地場産業の支援

29項目 6,930,200

<保健福祉局>

◇多様な保育サービスの提供 17,400

◆延長保育の拡充 <充実> 10,300

実施箇所 179→182か所

全体事業費 550百万円

(局配分枠540百万円，未来まちづくり推進枠10百万円)

◆延長保育の時間延長 <新規> 4,600

1時間延長→2時間延長

実施箇所 5か所(モデル実施)

◆一時保育の拡充 <充実> 2,500

実施箇所 42→44か所

全体事業費 141百万円

(局配分枠138百万円，未来まちづくり推進枠3百万円)

[保健福祉局 保育課 TEL 251-2390]

◇保育所整備及び整備助成 218,500

(新設) 1か所 <新規>

「桂第二保育園(仮称)」

定員 90人

(既存の桂分園(定員15人)を本園とするもの(実増75人))

場所 西京区桂久方町

(増築) 1か所 <新規>

「岩倉こひつじ保育園」

定員 90→150人

場所 左京区岩倉三宅町

(耐震改修) 1か所 <新規>

「信愛保育園」

定員 150人

場所 上京区西院町

(1 市民のいのちと暮らし, 安心安全を支える施策並びに中小企業, 地場産業の支援)

[単位: 千円]

(実施設計) 1 か所 <新規>

「京都市御池保育所」

定 員 90→150人

場 所 中京区柳馬場通御池上ル虎石町 (京都御池創生館)

[保健福祉局 児童家庭課 TEL 251-2380]

◇放課後ほっと広場 <新規> 12,500

余裕教室や図書室等の学校施設を活用して実施している「放課後まなび教室」と共働き世帯等の昼間留守家庭児童 (1年生~3年生) を対象とした「学童クラブ」機能を有する事業とを緊密な連携のもと運営する「放課後ほっと広場」を実施する。

※学童クラブ・放課後まなび教室融合事業

<学童クラブ機能部分>

実施日時 平日 放課後~午後6時30分

土曜・学校長期休業中 午前8時30分~午後6時30分

対象児童 小学校1年生~3年生の昼間留守家庭児童

保護者負担 0~5,900円/月 (おやつ代等別途)

実施箇所 4か所

実施時期 22年6月 (予定)

[保健福祉局 児童家庭課 TEL 251-2380]

[教育委員会事務局 生涯学習部 TEL 254-5015]

◇児童館整備 261,000

(新設) 4か所 <新規>

・「岩倉南児童館 (仮称)」

場 所 左京区岩倉下在地町 (岩倉南小学校内)

・「朱雀第三児童館 (仮称)」

場 所 中京区壬生松原町 (JR山陰本線高架下)

・「川岡東児童館 (仮称)」

場 所 西京区下津林東大般若町 (川岡東小学校内)

・「桃山東児童館 (仮称)」

場 所 伏見区桃山町伊庭 (桃山東小学校内)

[保健福祉局 児童家庭課 TEL 251-2380]

(1 市民のいのちと暮らし, 安心安全を支える施策並びに中小企業, 地場産業の支援)

[単位: 千円]

◇子育て支援活動いきいきセンター (つどいの広場) の拡充

<充実> 5,700

実施箇所 20→23か所

全体事業費 93百万円

(局配分枠87百万円, 未来まちづくり推進枠6百万円)

[保健福祉局 児童家庭課 TEL 251-2380]

◇第三子からの出産をサポート! 産前産後ヘルパー派遣事業

<新規> 1,300

第三子以降の子の出産のための入院, 産前産後の体調不良等により, 家事・育児が困難となる家庭に対しヘルパーを派遣し, 家事・育児の援助を行う。

派遣期間 出産(予定)日の前後2か月間のうち16日以内
(1日2時間以内)

利用料金 1時間当たり800円

(生活保護世帯及び市民税非課税世帯は無料)

[保健福祉局 児童家庭課 TEL 251-2380]

◇児童養護施設入所児童等自立支援事業

<新規> 6,500

児童養護施設の特に就学・就労・生活指導などが必要な入所児童又は退所児童に対し, 就学・就労・生活指導等を行い, 安定した自立生活を営めるよう支援する。

◆入所児童自立促進事業 1,900

高等学校就学年齢にあつて特に就学・就労などに向けた指導が必要な入所児童を対象に, 児童の日常的な相談, 指導助言などを行い, 退所後に自立した社会生活を営めるよう支援する。

◆退所児童自立定着促進事業 2,000

施設を退所した児童を対象に, 家庭や職場を訪問し, 適切な相談・指導等を行うことで, 自立した社会生活の継続・維持を図る。

◆退所児童自立拠点確保事業 2,600

施設を退所した児童であつて, 自ら居住するための住居を確保できない者に対し, 賃貸住宅等を借上げ, 生活の場を提供するとともに, 相談・生活指導等を行い, 自立の促進を図る。

[保健福祉局 児童家庭課 TEL 251-2380]

(1 市民のいのちと暮らし, 安心安全を支える施策並びに中小企業, 地場産業の支援)

[単位: 千円]

◇かしの木学園建替整備助成 <新規> 192,100

老朽狭あい化が著しい知的障害者通所授産施設「かしの木学園」について, 社会福祉法人なづな学園を実施主体とする建替え再整備に対し, 助成を行う。

定 員 45→55人

場 所 中京区西ノ京桑原町

[保健福祉局 障害保健福祉課 TEL 222-4161]

◇重度障害者タクシー料金助成 <充実> 5,800

重度障害者に対し, タクシー料金の一部を助成している本事業について, 対象者の拡大等を行うことにより, 利便性の向上を図る。(平成22年10月施行)

対象者の拡大 精神障害者手帳(1級)交付者を新たに追加

助 成 額 (チケット1枚当たり) 小型基本料金相当額→500円

1乗車1枚 →1乗車2枚まで使用可

全体事業費 229百万円

(局配分枠223百万円, 未来まちづくり推進枠6百万円)

[保健福祉局 障害保健福祉課 TEL 222-4161]

◇障害者職域開発推進事業 <新規> 3,200

障害者の雇用を拡大するため, 特例子会社(※)の設立促進, 障害者雇用を前提とした起業促進などについて調査研究を行う。

※特例子会社…障害者雇用の拡大と安定化を目的に設立される会社。障害者雇用率の算定において親会社の一事業所とみなされる。

[保健福祉局 障害保健福祉課 TEL 222-4161]

◇介護保険基盤整備助成 918,200

◆特別養護老人ホーム建設助成 726,000

(新設) 3か所 <新規>

・「日野しみずの里(仮称)」

定 員 110人(短期入所10人併設)

場 所 伏見区日野田頼町

助成総額 601百万円(22~23年度2年計画事業)

(1 市民のいのちと暮らし, 安心安全を支える施策並びに中小企業, 地場産業の支援)

[単位: 千円]

・「健光園」(移転新築)

定員 40→100人(短期入所20人併設)

場所 右京区嵯峨柳田町

助成総額 654百万円(22~23年度2年計画事業)

・「嵐山寮」(移転新築)

定員 50→110人(短期入所10人併設)

場所 右京区太秦前ノ田町

助成総額 510百万円(22~23年度2年計画事業)

(改修) 2か所

<新規>

・「原谷こぶしの里」

定員 90→100人

場所 北区大北山長谷町

助成総額 53百万円

・「同和園」

場所 伏見区醍醐上ノ山町

助成総額 30百万円

◆小規模特別養護老人ホーム建設助成

99,400

(新設) 2か所

<新規>

・「西の京(仮称)」

定員 20人(認知症高齢者グループホーム9人併設)

場所 中京区西ノ京小堀池町

助成総額 82百万円

・「広沢(仮称)」

定員 29人(小規模多機能型居宅介護拠点併設)

場所 右京区嵯峨広沢南野町

助成総額 17百万円(開設準備経費)

◆小規模老人保健施設建設助成

17,400

(新設) 1か所

<新規>

「マムクオーレ」

定員 29人

場所 南区唐橋羅城門町

助成総額 17百万円(開設準備経費)

(1 市民のいのちと暮らし, 安心安全を支える施策並びに中小企業, 地場産業の支援)

[単位: 千円]

◆小規模多機能型居宅介護拠点建設助成 32,900

(新設) 2か所 <新規>

・「山ノ内 (仮称)」

場 所 右京区山ノ内宮前町

助成総額 30百万円

・「広沢 (仮称)」

(小規模特別養護老人ホーム29人併設)

場 所 右京区嵯峨広沢南野町

助成総額 3百万円 (開設準備経費)

◆認知症高齢者グループホーム建設助成 42,500

(新設) 2か所 <新規>

・「常盤野 (仮称)」

定 員 18人

場 所 右京区常盤柏ノ木町

助成総額 11百万円 (開設準備経費)

・「西の京 (仮称)」

定 員 9人 (小規模特別養護老人ホーム20人併設)

場 所 中京区西ノ京小堀池町

助成総額 32百万円

[保健福祉局 長寿福祉課 TEL 251-1106]

◇社会福祉施設スプリンクラー整備事業 <新規> 35,000

消防法施行令の一部改正により, 入所施設にスプリンクラーの設置が義務付けられたことから, 利用者の安全確保を図るため, スプリンクラー整備費について助成を行う。

22年度助成対象施設 認知症高齢者グループホーム 7か所

[保健福祉局 長寿福祉課 TEL 251-1106]

◇がんの予防及び早期発見の推進 <充実> 8,500

大腸がん検診において, 冬季に郵送受付方式を導入し, 受診機会の拡充を図る。

・郵送大腸がん検診

実施時期 集団健診終了後の11月~3月

実施方法 検便の受付について, 保健所等への持参に加え, 郵送受付を導入

[保健福祉局 保健医療課 TEL 222-3411]

(1 市民のいのちと暮らし, 安心安全を支える施策並びに中小企業, 地場産業の支援)

[単位: 千円]

◇看護師確保対策 <新規> 7,200

看護を志す学生に修学の機会を提供し, 質の高い看護師の養成と確保を図っていくため, 本市内の私立大学看護学科の学生を対象に, 新たな修学資金融資制度を創設し, 利子補給及び入学一時金の給付を行う。

また, 看護師確保対策に資するため, 離職看護師の復帰支援や現職看護師の離職防止等についての調査検討を行う。

◆看護師修学資金融資制度 6,200

修学資金融資利子補給 金融機関から行われる看護師修学資金融資に対し, 本市が利子補給を行い実質無利子とする。

入学一時金給付 各大学の入学金の半額相当額 (ただし, 上限額 10 万円)

◆復職支援に向けた実態調査及び検討会議の実施 1,000

市内の医療機関に従事している看護師の就業状況の調査や有識者等による検討を行う。

[保健福祉局 保健医療課 TEL 222-3411]

[保健福祉局 医務審査課 TEL 213-2983]

◇国民健康保険事業特別会計繰出金 <充実> 261,000

国民健康保険事業の安定的な運営と被保険者の負担軽減のため, 保険料改定の実施に併せ, 一般会計からの繰出金を増額する。

[保健福祉局 保険年金課 TEL 213-5861]

【局配分枠における主な新規・充実事業(保健福祉局)】

[新規事業]

◇子ども手当	24,279,070
◇幼児二人同乗用自転車貸出事業	42,000
◇子育て用品・子ども用品「譲ります!もらいます!」	1,000
◇低所得の障害者に係る障害福祉サービスの無料化	244,508
◇障害者相談員制度	8,860
◇生活保護就労意欲喚起等支援事業	47,360
◇後期高齢者医療被保険者人間ドック受診費用助成	38,000
◇親子すこやか発達教室	3,558

(1 市民のいのちと暮らし, 安心安全を支える施策並びに中小企業, 地場産業の支援)

[単位: 千円]

◇新高校生奨学金 (仮称) 428, 071

[充実事業]

◇児童扶養手当 (父子家庭へ対象を拡大)
全体事業費 6, 593, 028 (うち充実分 83, 000)

◇障害者就労支援推進事業
障害者職場実習・チャレンジ雇用推進事業
全体事業費 5, 487 (うち充実分 2, 787)

◇命の大切さと生きる勇気・力を取り戻すための支援の充実
緊急自殺防止対策
全体事業費 38, 737 (うち充実分 35, 000)

◇老人福祉員の増員
全体事業費 31, 734 (うち充実分 3, 460)
(介護保険事業特別会計)

◇育児支援家庭訪問事業 (育児支援ヘルパー派遣事業)
全体事業費 19, 475 (うち充実分 10, 012)

◇新型インフルエンザ対策
全体事業費 24, 000 (うち充実分 16, 000)
(雇用対策事業特別会計 14, 000 含む)

◇結核対策 (V N T R検査・ホームレス対策)
全体事業費 73, 350 (うち充実分 1, 162)

<産業観光局>

◇中小・ベンチャー企業成長戦略支援事業 <充実> 8, 000

京都高度技術研究所 (A S T E M) と京都市中小企業支援センターが統合した相乗効果を最大限に発揮する事業として, I T分野を中心に中小・ベンチャー企業の成長を戦略的に支援し, 地域産業の振興を図る。

新技術の導入調査, プロトタイプ (試作品) の開発

市内 I T企業と A S T E Mとの共同により, 市場が要求する特長ある技術を集積し, 新市場の開拓を図るため, 市場ニーズの調査や試作アプリケーションの開発を行う。

全体事業費 2 1 百万円

(局配分枠 1 3 百万円, 未来まちづくり推進枠 8 百万円)

[産業観光局 産業振興室 TEL 222-3324]

(1 市民のいのちと暮らし, 安心安全を支える施策並びに中小企業, 地場産業の支援)

[単位: 千円]

◇新産業技術研究所整備事業

—イノベーションの創生に向けた新たな拠点整備—

<新規> 4,690,000

市域産業におけるイノベーションの創生に向け, 京都リサーチパーク内に整備中の建物を取得し, 「新産業技術研究所」を開設するとともに, ものづくり中小企業に対する技術支援の更なる充実を図るため, 研究開発に必要な機器等の整備を進める。

場 所 下京区中堂寺栗田町 (京都リサーチパーク内)

延床面積 11,286㎡ (産業技術研究所専有部分)

[産業観光局 産業技術研究所 TEL 311-3171]

◇中小企業パワーアッププロジェクト

<充実> 18,000

21年度に開始した中小企業パワーアッププロジェクトにおいて, 企業から要望が多い経営改善や販路開拓, 技術マッチングなど, 支援内容の充実を図る。

◆企業パワーアップ支援体制の充実 6,000

アドバイザーを増員し, 支援体制の充実を図る。

◆販路開拓・技術マッチング支援事業 11,000

21年度まで実施してきた「京都ものづくり企業 縁むすびプロジェクト」の取組に加え, 他都市企業や大企業とのマッチングなど, 支援メニューを拡充する。

◆先進企業の「新・オスカー認定」(仮称) 制度 1,000

本事業により業績アップを果たした企業を対象に「新・オスカー認定」制度を設け, 認定企業には異業種交流機会の提供や情報発信支援等により, その成長を加速する。

全体事業費 45百万円

(局配分枠27百万円, 未来まちづくり推進枠18百万円)

[産業観光局 産業振興室 TEL 222-3324]

【局配分枠における主な新規・充実事業(産業観光局)】

[新規事業]

◇「京都市商業活性化アクションプラン(仮称)」の策定 1,700

◇「未来の名匠(仮称)」制度の創設 3,500

◇不況対策緊急融資, 雇用促進支援融資の創設

融資制度預託金全体予算1,300億円の内数

(1 市民のいのちと暮らし, 安心安全を支える施策並びに中小企業, 地場産業の支援)

[単位: 千円]

[充実事業]

- ◇商店街等支援事業 (商店街等環境整備支援事業)
全体事業費 46,416 (うち充実分 20,149)
- ◇融資制度預託金 (新規融資枠の拡充: 1,500 億円→2,200 億円)
全体事業費 130,000,000 (うち充実分 50,000,000)

<都市計画局>

- ◇分譲マンション共用部分バリアフリー改修 <新規> 3,000

高齢者や障害のある方をはじめとする全ての市民が暮らしやすい良好な住宅ストックの形成及び安心して暮らせるすまいづくりを推進するため, スロープの設置など, 分譲マンションの共用部分のバリアフリー改修に要する費用の一部を助成する。

[都市計画局 住宅政策課 TEL 222-3666]

- ◇地域・医療提携型地域優良賃貸住宅建設費補助 <充実> 110,000

福祉・医療分野との融合により, 高齢者の安全で安定した居住を確保するため, 地域優良賃貸住宅 (高齢者型) 及び高齢者生活支援施設の建設費に対して補助を行う。

全体事業費 163 百万円

(局配分枠 53 百万円, 未来まちづくり推進枠 110 百万円)

[都市計画局 住宅政策課 TEL 222-3666]

- ◇地域連携型空き家流通促進事業 <新規> 3,000

地元組織と不動産業者等による組織を設置し, 空き家の活用に向けた課題についての調査, 研究を行い, 不動産市場における空き家の流通を促進するための仕組みを構築する。

[都市計画局 住宅政策課 TEL 222-3666]

【局配分枠における主な新規・充実事業(都市計画局)】

[新規事業]

- ◇既存建築物のデータベース作成 34,710

(1 市民のいのちと暮らし, 安心安全を支える施策並びに中小企業, 地場産業の支援)

[単位: 千円]

[充実事業]

- ◇特定建築物の耐震化対策 全体事業費 9,500 (うち充実分 4,500)
- ◇狭あい道路対策事業 全体事業費 3,000 (うち充実分 1,255)
- ◇京都市あんぜん住宅改善資金融資制度
全体事業費 1,006,840 (うち充実分 253,251)

<教育委員会>

- ◇学校施設の耐震化 P F I 事業 <新規> 25,000

これまで改築以外では耐震性を確保できないと考えられていた校舎について, 近年の工法の進歩により, 耐震改修による対応が可能となったことから, P F I 手法を用いた耐震補強工事を実施する。

23年度の施工へ向け, 22年度は事業者選定等の手続きを進める。

対象校 京極小学校, 伏見住吉小学校, 烏丸中学校, 西ノ京中学校,
銅駝美術工芸高校

[教育委員会事務局 教育環境整備室 TEL 222-3796]

<文化市民局>

- ◇消費者教育・啓発の推進 <新規> 40,000

消費者教育・啓発の更なる充実を図る。

事業内容 暮らしのフォーラム (仮称) の開催
大学における消費者講座の開催
マイシティライフ特別号の発行
祝日における電話相談の実施 など

[文化市民局 市民総合相談課 TEL 256-1110]

- ◇ドメスティックバイオレンス (DV) 相談支援センター (仮称) の設置
<新規> 7,000

配偶者等からの暴力 (ドメスティックバイオレンス) 被害者への支援策として, 相談から自立支援まで, 関係機関が連携して支援を行うための中心的役割を担うドメスティックバイオレンス (DV) 相談支援センター (仮称) を設置する。22年度は, 23年度の開設に向け, 施設の改修, 備品の購入等を行う。

[文化市民局 男女共同参画推進課 TEL 222-3091]

(1 市民のいのちと暮らし, 安心安全を支える施策並びに中小企業, 地場産業の支援)

[単位: 千円]

◇「日本女性会議2010きょうと」の開催 <新規> 37,000

男女共同参画社会の実現に向けた課題の解決策を探るとともに, 参加者相互交流の促進や情報のネットワーク化を図るため, 「日本女性会議」を京都で開催する。

開催期間 22年10月1日～3日

開催場所 国立京都国際会館

[文化市民局 男女共同参画推進課 TEL 222-3091]

◇子ども・若者総合支援事業 <新規> 32,500

21年7月に公布された「子ども・若者育成支援推進法」を踏まえ, すべての子どもの健やかな成長と若者の社会的自立を目指し, 総合的・継続的な支援を行う。

◆子ども・若者計画の策定

本市における子ども・若者育成支援の枠組みを定めた計画を策定する。

◆子ども・若者総合相談センターの設置

子ども・若者に関する幅広い相談に対応するワンストップ相談窓口を設置する。

◆子ども・若者支援地域協議会の設置

子ども・若者の支援を行う関係機関から構成する協議会を設置し, 各機関が行う支援を適切に組み合わせた効果的かつ円滑な支援を実施する。協議会設置に当たっては, 支援全般の主導的役割を果たす「指定支援機関」を指定する。

支援対象 ニート, ひきこもり, 不登校など社会生活を円滑に営む上での困難を有する0歳から30歳代までの子ども・若者で, 複数の機関が連携して総合的・継続的に対応する必要があるもの

[文化市民局 勤労福祉青少年課 TEL 222-3089]

[産業観光局 産業政策課 TEL 222-3325]

[保健福祉局 保健福祉総務課 TEL 222-3366]

[教育委員会事務局 生徒指導課 TEL 213-5622]

【局配分枠における主な新規・充実事業(文化市民局)】

[新規事業]

◇犯罪被害者支援策の調査・検討 3,000

(1 市民のいのちと暮らし, 安心安全を支える施策並びに中小企業, 地場産業の支援)

[単位: 千円]

<区政策提案予算>

◇北区伝統ブランドいきいき発信事業 <充実> 800

北区が誇る伝統ブランドを発信することにより, 新たな需要を開拓し, 北区の伝統産業の活性化を図る。22年度は, 21年度に続き, 賀茂なすなどの北区の京野菜をPRするため, 「もぎたて京の朝市」を開催する。

[北区役所 まちづくり推進課 TEL 432-1208]

◇深草管内商店街活性化事業 <新規> 1,000

深草管内中心に位置する商店街の活性化に向けた地域独自の方策を検討するため, 商店街の方々, 地元大学関係者, 専門家などと連携して意見交換会等を実施する。

[伏見区役所深草支所 まちづくり推進課 TEL 642-3203]

<消防局>

◇消防救急無線デジタル化実証実験 <新規> 1,000

28年5月までの移行が義務付けられている消防救急無線のデジタル化について, 円滑な導入を図るため, 国の予算を活用し, 実証実験を行う。

[消防局 庶務課 TEL 212-6635]

【局配分枠における主な新規・充実事業(消防局)】

[新規事業]

◇新たな住宅用火災警報器設置促進事業 3,500
◇「火の用心」でDO YOU KYOTO? 3,500
◇防災施策評価手法の確立 3,600

[充実事業]

◇消防自動車整備 全体事業費 353,700
(充実分: 生体情報モニター(救急隊用12誘導対応心電計)整備 10,920)
◇地域防災計画の推進 全体事業費 40,900
(充実分: 地域に応じた迅速な避難体制の構築(防災マップ改訂等) 16,800)